

認知症について考えてみませんか

問い合わせ 地域包括支援センター(太宰府中学校区・太宰府東中学校区担当) ☎(929)3211
地域包括支援サブセンター(学業院中学校区・太宰府西中学校区担当) ☎(918)2200

9月21日は「世界アルツハイマーデー」(国際アルツハイマー病協会制定)、9月は「世界アルツハイマー月間」(世界保健機関<WHO>制定)です。今は元気で若いから関係ないと思っても、あなたや愛する家族が認知症を患う可能性があります。この病気を他人ごとではなく、自分のこととして少し考えてみませんか。

【認知症は脳の病気】

脳の細胞が死亡したり、働きが悪くなったりすることで、さまざまな障がいが起こり、日常生活に支障が出ている状態(およそ6か月以上継続)が認知症です。認知症には、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症などの種類があります。

【認知症の症状】

悪くなる脳の細胞の部位により、記憶障がいや時間・場所・人などの認識、計算能力の低下や感情・性格の変化など症状はさまざまです。

初期症状としては、同じことを何回も言う、約束を忘れる、物を頻繁になくす、今まで出来ていたことで失敗が増えるなどです。症状が進行すると、衣服の着脱に時間がかかる、排泄の失敗、家族の顔が認識できなくなることもあります。

【早期発見・早期受診】

認知症の早期発見・早期受診・診断・治療はその後の生活を大きく左右する重要なことです。症状の改善や進行を抑制することができます。障がいやトラブルを減らすことにもつながります。また、認知症と同じような症状の病気(脳腫瘍、慢性硬膜下血腫など)の可能性もあり、早期治療にもつながります。

【まずは相談を！】

認知症の初期には戸惑いと不安から本人が症状を隠そうと話を取り繕うなどの理由で発見が遅れることや家族が認知症を認めたくないとの思いから受診をためらう場合もあります。しかし、受診時には認知症がかなり進行していることも少なくありません。本人や周囲が「あれ、何かおかしいな?」「認知症かもしれない。でも、まさかね…」というくらいのうちに、一度相談することをお勧めします。

まず、普段かかっているお医者さんや各担当地域の地域包括支援センターへご相談ください。

地域包括支援センターには、認知症支援に対応する認知症地域支援推進員を配置しています。

【認知症初期集中支援チーム】

医療や福祉の専門職員により構成されたチームで、認知症の方や認知症が疑われる方、その家族に対し、早期診断、早期対応に向けた支援(家庭訪問や受診の支援など)を集中的に行います。

なお、チームの利用については、対象要件があります。

認知症初期集中支援チーム利用の流れ

